

亀岡社保協第 16 回総会を開催 大軍拡・大增税は社会保障切り捨てるの道

岸田自公政権の戦争国家・軍事国家への道を食い止めましょう

亀岡市社会保障推進協議会は4月16日(日)、ガレリアかめおかにおいて第16回総会を開催し、2022年度の活動と経過、2022年度決算・会計監査、2023年度の取り組み・予算を審議し決定しました。岸田自公政権の戦争国家・軍事大国への策謀をくい止めるために全力で取り組むことを確認しました。

生活なんでも相談会・生活保護行政改善の取り組み

生活なんでも相談会を国民健康保険料が通知される6月に開催します。生活保護行政で生じている具体的な問題を調査し改善を求める取り組みを進めます。

すべての人に
生きる権利!



国民健康保険料・介護保険料・利用料引き下げの取り組み

国民健康保険料を7年間にわたって引き下げおよび据え置きさせてきたことを一定評価しつつ、国保料の引き下げを実現するため、京都府独自の補助、亀岡市の法定外繰り入れ、調整基金の活用など、他の自治体の取り組みも参考にしながら引き下げを要求していきます。

介護保険制度改悪を許さない取り組みを進めるとともに、年金収入では必要な介護を受けることができない実態を調査し、亀岡市独自の保険料・利用料の負担軽減、支援策を講じるよう求めています。

加齢性難聴補聴器購入助成実現・健康保険証廃止反対の取り組み

加齢性難聴補聴器購入助成を実現するため、補聴器の公的助成を求める亀岡連絡会が6月市議会に向けて取り組んでいる市議会請願署名の成功をめざします。

マイナンバーカード一体化・健康保険証の廃止は、国民皆保険制度を崩壊させるものです。今国会での法案の成立を阻むとともに、亀岡市にいつでも、どこでも、だれでも安心して医療が受けられるよう求めています。

討論では、加齢性難聴者の補聴器購入助成を求める取り組みについて、街頭署名活動、老人会への要請活動、耳鼻科医師への働きかけなどの取り組みが報告されました。また年金者組合女性部が実施した生活実態アンケート調査の結果、高齢女性の置かれている厳しい生活実態が報告されました。

総会では、これらの取り組みを進める役員体制が承認されました。



記念講演「戦争と社会保障」に28名が参加

京都華頂大学藤井伸生名誉教授の総会記念講演「戦争と社会保障」には28名の方が参加され、戦争政策には未来がないこと、現役労働者と共同し社会保障を拡充していくことが求められていることを学びました。